

美波町志和岐に

ナミキソウの苗 200 株が里帰り

緑のリサイクルソーシャルエコプロジェクトチームのメンバーである阿南光高校の学生たちが、令和3年7月2日、地域住民から依頼を受けて増殖させたナミキソウの苗200株を志和岐地区へ提供しました。当日は学生代表者から住民へ苗が贈られ、参加者で苗の定植を行いました。これまでも生徒が志和岐地区を訪れ、河川や道路、公園等の維持管理で発生する「刈草」をイノベーションした土壌改良材「もったいない2号」を使って、自生地の復旧と保護活動に取り組んでおり、今年2月に開催されたとくしま創生アワード2020では、美波町志和岐応援プロジェクト「見て、触れて、感じて、美波の宝・ナミキソウ 未来につなげるふるさとの宝」と題して地域おこし活動を行い、学生賞を受賞しています。



ナミキソウとは？

浜辺などに生え5～8月ごろに約2センチの青い花を咲かせます。徳島県内では唯一、志和岐に自生しており、徳島県のレッドデータブックで絶滅の危険性が最も高い「1A」に分類されています。全国的にも分布域が縮小しており、特に絶滅が危惧されている浜辺の植物です。



ALT のビリーさんが退任 「3 年間ありがとう、そしてお元気で」

アメリカ Wisconsin 州出身の町外国語指導助手 (ALT) ウィリアム・ジョン・ギャラガー (ビリー) さん (※右写真中央) が約3年間の任期を終え、退任されました。ビリーさんは、平成30年10月に着任。以来、主に日和佐中学校で外国語の授業や活動補助のほか、英語弁論大会等への協力などにご尽力くださいました。また、地域活動にも積極的で、多文化共生ネットワーク「ハーモニー」の活動や日和佐太鼓創作会での活動などにもご参加くださいました。ビリーさんは「生徒達との学校生活は、とても楽しく充実した3年間でした」と笑顔で影治町長に話されていました。

